

みんなで支える森林づくりニュース(第9号)

平成24年11月

災害に強い森林づくりを進めるための税 「みえ緑と森のきずな税(仮称)」の説明会を開催しました

10月11日から31日まで、県内9ヶ所で開催した「みえ緑と森のきずな税(仮称)」の説明会では、三重県の林業の状況・森林の役割・税の仕組みなどについて説明を行い、さまざまなご意見をいただきました。説明会でいただいた主なご意見は下記のとおりです。

(税の使途についての意見)

- ・流木が海に流れていくため、未然防止をお願いしたい。
- ・獣害対策を農業部局と協力してもらい、効率のよい対策を実施してもらいたい。
- ・森林整備が進むよう、団地化への取組や材価があがるような取組はできないか。
- ・森林の質が変わってきたので、山崩れが起こるようになったのでは。税を使って森林の質向上を進めていくべきではないか。
- ・溪流沿いには花の咲く樹木を植えるとか、多種多様な森林を育てていくことが、災害に強い森林につながるのではないか。
- ・間伐不足の人工林整備を実施していくべき。

(税の使途についての意見)

- ・森林所有者への収益につながると思えるので、すみ分けをきちんとしてほしい。
- ・想定される事業で、税による私的財産(民有林)の管理に使われることのないように。

(透明性確保や評価制度についての意見)

- ・この税を森林林業関係事業以外に使うことのないように。
- ・5年間で実施した事業の効果検証ができるのか。短期間では森林づくりの効果を実感することは難しいと思う。

(その他の意見)

- ・税ができることで、既存の林業関係予算枠が削られることのないようお願いする。
- ・スギやヒノキの人工林が崩れたのでは。広葉樹林は山崩れが起こりにくいと思う。

いただいたご意見を参考に、引き続き検討を進めていきます。



10.22津会場



10.23伊勢会場